

# どんびま

2011年6月6日発行  
発行者 椛の湖農業小学校

## なんじゃもんじゃ

若葉の季節が終わると野山は白い花の季節になる。ヤマボウシ、ウツギ(ウノハナ)、ニセアカシアなどなど。

当地で白い花の代表はヒトツバタゴである。別名のナンジャモンジャと呼ぶ人が多い。ヒトツバタゴは長崎県対馬の他は犬山市、瑞浪市、恵那市と中津川市の4ヶ所だけに自生している。いずれも天然記念物に指定されている。

花は純白で、円すい状の花房を小枝の先にいっぱい付ける。木を眺めるとまるで雪が積もったかのように見える。我が家の庭先に植えた木は自生地より10日遅れで咲き始め、今が盛りである。

(草)



## 6月授業日のご案内

- |       |             |             |                            |
|-------|-------------|-------------|----------------------------|
| ●日程   | 6月19日(日)    |             |                            |
| 受付    | 9:00~9:30   | ●昼食         | ほうば寿司・吸い物・ほうば餅             |
| 始めの会  | 9:30~9:40   | ●服装         | 作業のできる服装                   |
| 授業    | 9:40~12:00  | ●持ち物        | 手袋、タオル、長靴、雨具、食器、箸、野菜持ち帰り用袋 |
|       | お茶摘み・お茶もみ   |             |                            |
|       | ほうば寿司作り     |             |                            |
| 昼食    | 12:00~13:00 | ●締め切り       | 6月15日(厳守)                  |
| 授業    | 13:00~15:00 | ●問い合わせ・緊急連絡 | TEL 0573-75-4417           |
|       | 畑の仕事        |             |                            |
| 終わりの会 | 15:00~15:15 |             | 090-5110-9362(山内總太郎)       |

## ～5月の農小レポート～

### 「風かおる五月晴れの田植え」

「園里黄桜」の花が咲いていました。今年は天候不順のためか、作物の生育がやや遅れがちのようですが、農小の田植えは予定通り行われました。

- 1 午前の授業。** 先月持ち帰った「かぼちゃ」の種から育てた苗を、一人一株ずつ名札を付けて植え付けました。  
畑の作業は、草取りと、じゃが芋の土寄せ、そしてほうれん草と小松菜の間引きをしました。今回は間引き作業が上手く出来たようで安心しました。
- 2 昼食。** 草もち、ぼたもち、おにぎり、味噌汁（若たけ、わらび入り）、天ぷら（よもぎ、しいたけ）、野菜サラダ。  
昔の農家では田植えが一カ月ほどかかりましたので、田植えが終わると労をねぎらうと同時に、田の神様に感謝と豊作を祈って、ぼたもち（牡丹の時期）などを供える「さなぶり」と云う伝統行事がありました。農小では「さなぶり」を先取りしてお昼にいただきました。
- 3 午後の授業。** 田植え、農小としては大きなイベントのひとつの田植えは、泥んこになりながらも楽しい作業のようです。初体験の生徒にとっては、泥の中に足を入れるのは勇気のいる事だったでしょう。天気も良かったので作業がはかどり、予定より早い時間に完了する事ができました。
- 4 持ち帰り。** カブト虫の幼虫、バケツ稲の苗と土、抜き菜。  
\*かぶと虫の幼虫は、2匹入りのパックが配られ、農場長から飼育についての説明がありましたので、しっかり守って丈夫な成虫に育て、7月の「かぶと虫運動会」に参加して下さい。成績上位は表彰されるのでご期待を！！  
\*バケツ稲は、土と苗（農小田んぼと同じ）が配られ、山内さんから育て方の説明が有りました。パンフレットも付きましたので参考にして、立派な作品を持ってきてください。9月の授業日にはコンクールがあり、優秀な作品には賞品が用意されていますのでご期待を！！
- 5 終わりの会。** 全国最年少野菜ソムリエの大村君より、今回持ち帰りの抜き菜の料理が紹介されました。是非実践してみましよう！！

### ～とくちゃんのちょっと一言～

毎回農場長よりお話のある、米の字の由来は88回手間を掛けると云うことですが、最近では機械（農機具）が手助けしてくれるので回数は減りました。しかし今でも半分位の手間は掛けないと、美味しいご飯にまではたどりつけません。今年は東北地方の米どころに大きな被害があり、田んぼに田植えの出来ない場所が沢山あり、お米が不足するかもしれません。農場長に水廻りをしっかり？お願いして、豊作を祈りましょう！！

～あぼ兄の百姓ばなし～

## 「カエルは環境の番人」

農小スタッフの古谷くんが、農小の田植えの準備をした作業日のことを話してくれた。田んぼの中のカエルの卵を捨てようか迷ったが「かなちゃんの虫日記」を思い出して思い止まったという。

あぼ兄も春先に畑を耕していると、まだ冬眠から覚めてないカエルが掘り起こされて出てくることがある。そっと隣の土にもどしてやる。

30年ほど前、あぼ兄はバスの運転手だった。夕暮れに山道を通りかかると、沼から這い上がり道路に出てきたヒキガエルと遭遇したものだ。手を挙げてイヤ前足を挙げて渡ろうとしていても、なにせ狭い道なのでハンドルを切って避けるわけにもいかず、無事を祈りながら「ゴメン」といって通り過ぎた。タイヤに感じるわずかな衝撃があぼ兄の心には大きな衝撃だったことを思い出す。

田植えも終わり、田んぼ一面に水がはられ、いよいよこれからカエルの大合唱のはずだが、最近は数も少なく声も小さいようだ。原因は農薬や化学肥料の使用にあるが、苗代の無くなったことにもあると思う。苗代は田(の一部)に水を入れ、代掻きして苗床を作って粃を蒔きイネの苗を育てるものだが、近年は屋内での電気育苗になってしまった。つまりカエルが産卵できる水たまりが少なくなったということだ。

カエルは環境の番人、自然のバロメーターとも云われる。水田の健康度を計るにも、主役はオタマジャクシとカエルだと云う。オタマジャクシはミジンコやイトミミズを食べて成長する。カエルは田や畑の害虫を食べてくれる大切な生き物でもある。だが、そのカエルを餌にする蛇や鳥がいる。自然界では食うか食われるかの関係があって、それを「生物のピラミッド」と云う。

だが、あぼ兄流に云えば、何時も人間がその上にいて勝手にバランスを崩したりしている。当地の川は鮎の季節となった。狭い所で育てられた稚鮎たちは山あいのきれいな川に放流されたかと思うと、待っているのは川鵜と人間だ。川鵜は生きるために食べるだけを食べるだけだが、人間は捕れるだけ捕ってしまう

人間はコンピューターを使い、月や宇宙まで行くようになって、「ピラミッド」の頂点をきわめ、人間が全てを支配しているかのような気になっていたが、この度の大震災では自然の力の大きさを、人間の小ささ・弱さを思い知らされた。

一瞬にして生活も命も飲みこんだ地震・津波の残したがれきの山も始末に困っていると聞く。放射能の降りかかった土は表面を削り取っても行き先が無い。自然界に戻すことのできない目に見えないゴミ(放射性物質)は無害になるには10万年もかかるという。

ゴミを持ちカエル(帰る)、みごとよみカエル(蘇える)などカエルに託したい気持ちになる。

新聞の風刺漫画に「カエルの歌が聞こえてくる」首相に似たカエルを取り囲んで「カエル」「カエル」の大合唱の絵だ。政界浄化?責任のなすりあい?それとも・・・

人間のエゴ・狡さ・身勝手にカエルたち生き物を困らせた上に、このような事を言っても、カエルは言うに違いない。「そんな話はケロケロ・蹴ろ」

# ～かなちゃんの虫日記～

これぞ5月！というさわやかなお天気の下で"田植えが"できてよかったですね。ケシカタビロアメンボもたくさんいましたね！！

「はん好きなアメンボのなかまなので、わたしはずっとこつふんして

いました。水面にういていた黒ゴマみたいな小さな小さな虫、あれがカタビロアメンボです。＊ ＊ ＊ テケテケ歩くすがたがとってもかわいいです♡

しかもかわいいだけでなく

お米の味方なんですよ♡



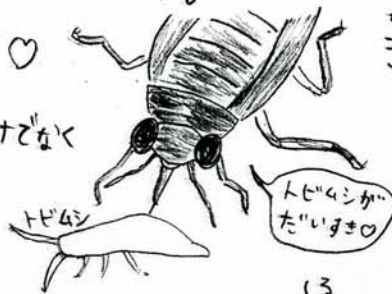
イネ (お米)

トビシは水面をひんぱんにジャンプしている。イネも虫もたべない、ただの虫

イネをすうウンカ

あちる

アメンボに



かくだい 拡大して見てもかわいい♡

トビシかた"いすまの

はっぱやくきの汁をすってからしてしまう

悪い虫(害虫)も やっつけてくれます！

ウンカ以外にも水面におちてる虫を とんどん すっていきます。自分より大きな

木目手にもむかっています。およぐのが

苦手な虫なんてへなちこですもんね。



そんな悪い虫をやっつけてくれる良いいきものいいことをいいます。クモはちょっとかわいいかもしれませんが、

いろんな虫を食べるゆはな天敵です。イネを害虫からまもってくれてありがとうございます。と思うとこおせもきってなくなるはず。

家の中でもクモを見かけますが、タニを食べたりしているのでおっほらおずじにそのまま住ませた方が、クモにも人にも良いのかも！！

わたしのうちではクモもいっしょに住んでいます。(そりじかできてないだけ？...)